

# 業種別景況予測

## 2019年10月~12月

					
特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振

部 会	7~9月 (実績)	10~12月 (見通し)	概 況
寝 装 リ ビ ン グ			「不況が続き、各メーカーの営業担当社員の異動が激しく、要領がつかめないため、自社の営業担当の兼務が多くなり困っている」「先行き不透明感あり」とのコメントが寄せられた。
織 維 フ ァ ッ シ ョ ン			「日韓関係の悪化もあり、日本を取り巻く国際情勢は極めて不安な状況が続いている」「気候の変動が激しく、シーズン前に期待していた商品の動きが悪いため、在庫過多が懸念される」など、先行きの不透明感は増している様子。
工 業			「原料・運賃の値上がり分を顧客に価格転嫁できなかった」「大企業のみ利益を上げている状況である」「引き続き、技能職不足・人材不足が課題」とのコメントが寄せられた。
建 設			「昨年9月の台風21号の影響も一部業種では落ちついてきた」「新築工事は減少傾向にあるが、小規模な修繕工事の依頼が続いている」「これから動くであろう大阪万博やIRに関係する工事により、労働者が集中するため、一時的な労働力不足が懸念される」とのコメントが寄せられた。
運 輸 倉 庫			「消費税増税での動きが特段起こらず、全体の荷動きが悪いため倉庫は満庫状態である」「運転手や現場作業員の不足が深刻な状況となってきた」「経費が高騰し、売上が低迷している中、人件費が上昇している」とのコメントが寄せられた。
金 融 理 財			「高齢化社会のため、相変わらず遺言公正証書の依頼が多い(行政書士)」「損害保険と生命保険が統合されてから生命保険に主を置くも、自然災害のフォローで時間が取られてしまう(保険業)」「貸出金利の低下により、収益は減少している(金融業)」とのコメントが寄せられた。
一 般 商 業			「贈り物をする風習が少しずつ無くなってきているように思う。そのため、進物菓子より自宅用菓子の売上が増加傾向にある(菓子製造小売業)」「時計やアクセサリ・バッグなど高価な商品の売上げが悪化(小売業)」とのコメントが寄せられた。
サービ 商業			「高齢のお客様の割合が増え、一人当たりの消費額が下がる傾向にある(スポーツクラブ)」「大阪府の最低賃金の引き上げや消費税等の変動により、人手不足を解消する糸口が見つからない(介護業)」「消費税増税に伴い、療養費の料金を改定したが、衛生材料や設備費等の増税分を賄うほどの金額にならず、実質フローは減少となった(整骨院)」とのコメントが寄せられた。

(調査概要) ●調査実施 令和元年10月 ●調査対象企業 285社 ●回答数133社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

~調査機関~ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111